

CAUTION

CAUTION

CAUTION

CAUTION

「防犯上の指針」 の概要

令和2年9月改定



セーフティーくん
富山県安全なまちづくり マスコットデザイン

このパンフレットは、令和2年9月に改定された、富山県安全なまちづくり条例に基づく「防犯上の指針」の概要やポイントを説明したものです。



©富山県
元気とやまマスコット「きときとくん」

CAUTION

CAUTION

CAUTION

防犯上の指針 の概要

防犯上の指針は「住宅」「住宅団地」「道路・公園・駐車場」「学校・通学路」「観光施設」の5つの指針で構成されており、犯罪の防止に配慮した施設等の基準や安全の確保を図る上での管理対策などを示しています。



今回改定された「防犯上の指針」の概要は、犯罪学の国内第一人者である
こみやのぶお
小宮 信夫 立正大学文学部社会学科教授・
社会学博士に解説していただきます。

小宮 信夫 です。
よろしくお願いします。



今回の改定では「犯罪機会論」と
「犯罪抑止の3要素」を取り入れました。

これから、図を使いながら
分かりやすく説明していきましょう。



小宮先生

目次

1	犯罪機会論とは?		4 ページ
2	犯罪抑止の3要素とは?		6 ページ
3	ソフト面(意識面)での「取組み」 ～ホットスポット・パトロール～		8 ページ
4	ハイブリッド(ハード+ソフト)の取組み ～心理的な領域性の確保～		9 ページ
5	ゾーニング(すみ分け)による 「子どもの安全な遊び場の構築」		10 ページ
6	安全に配慮した公衆トイレ		12 ページ
7	犯罪機会論に基づく「地域安全マップ」		13 ページ
8	低コストで可能な侵入防止対策 「来校者誘導用ライン」		13 ページ
9	「抵抗性」(住宅・共同住宅など) ～最後の「砦」～		14 ページ

1

犯罪機会論とは？

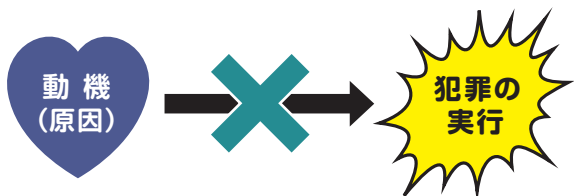
犯罪の動機があっても、それだけで犯罪は起こりません。
犯罪をしようとする者が、犯罪の機会に出会ったときに、初めて犯罪は起こります。

（ 「機会(チャンス)があるから犯罪が起こる」
「機会なければ、犯罪なし」それが「犯罪機会論」です。 ）

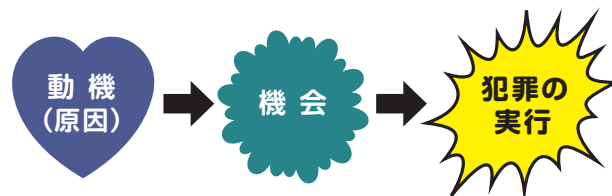


「機会」とは「犯罪が成功しそうな場所(環境)」です。場所を、犯罪が失敗しそうな場所に改善(整備)して、犯罪を防止するという考え方です。

動機があってもすぐに犯罪が実行されるのではなく



「機会」があるから犯罪が起こります!



キーワードは「入りやすく」+「見えにくい」場所

◆ 犯罪が起こりにくい「自転車置場」はどちらでしょうか ◆



- × 周囲から見えにくい
- × 自転車盗の瞬間を、誰かに目撃される可能性は低い



- 周囲に「窓」が多い、植栽が視線を集める
- 自転車盗の瞬間を、誰かに目撃される可能性が高い



改定のポイント

指針の基本的方向に「犯罪機会論」を取り入れました。
「防犯上の指針」改定版の本文P1に記載しました。



「犯罪者」は、その「場所」の「景色」を見て、
犯罪が成功するかしないかを「判断」します。

◆ 犯罪が起こりにくい「歩道橋」はどちらでしょうか ◆



犯罪の起こりやすい「場所」には「共通点」があります。
(だれもが) 入りやすく、(だれからも) 見えにくい

◆ 犯罪が起こりにくい「公園」はどちらでしょうか ◆



- × ブロック塀や樹木で「見えにくい」
- × 「傘と自転車」が放置



- 家の「窓」が多数、「見えやすい」
- フェンスと植栽で、「入りにくい」



心理的に「見えにくい」場所

不特定多数の人が集まる場所

(傍観者効果)

不特定多数の人が集まる場所は、誰かが見ていると思いがちですが、実は「誰も見ていない」場所です(人の注意や関心が分散します)。仮に犯行に気づいても、「たくさんの人が見ているから、自分でなくてもだれかが助けるだろう」と思って、止めに入らない傾向があります。



無関心な場所

(割れ窓理論)

落書きや、ゴミの不法投棄などの放置は、犯罪企図者に住民の「無関心」を連想させ、犯罪を誘発する可能性があります。

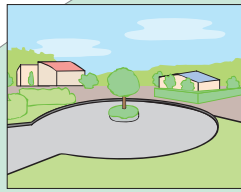


2

犯罪抑止の3要素とは？

「犯罪抑止の3要素」は、「犯罪機会論」を日常生活で手軽に活用するために、私が考案しました。「領域性」、「監視性」、「抵抗性」に分類し、それぞれ「ハード面(物理面)」と「ソフト面(心理面)」で構成されています。

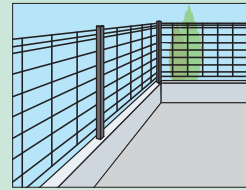
「領域性」のハード面には、カラー舗装、門柱、ナビラインなど、アイデアと工夫で「心理的」な領域性を高める手法もあります(犯罪者だけが強く意識する仕掛けです)。



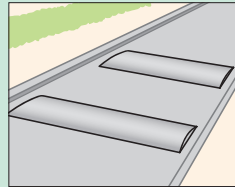
クルドサック(袋小路)



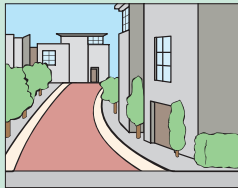
ゲート



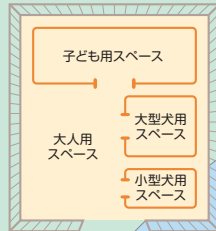
フェンス



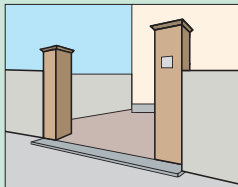
ハンブ(凸部)



カラー舗装



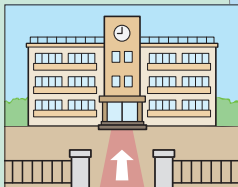
ゾーニング



門柱



植栽管理



ナビライン



防犯ミラー



センサーライト



防犯カメラ

ハード面(視認性)

1 領

物理的
心理的
バリア
犯罪者の

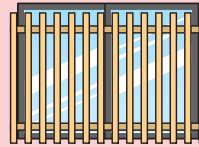
2 監

勢力圏内に
目撃される
が高いと
犯罪を実行

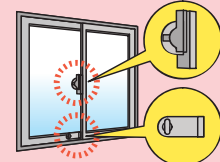
3 抵

犯行に
抵抗性が
犯罪
達成

ハード面(恒常性)



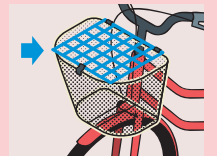
外格子



2重ロック



防犯フィルム



ひったくり防止ネット

「抵抗性」だけに頼らないことが大切です。「入りにくい」=「領域性」が高い
「見えやすい」=「監視性」が高い

せっかく2重ロックにしたり、防犯フィルムを貼ったのに、カギをかけ忘れてしまうと、効果がなくなりますね。



- ① 領域性 ▶ 犯罪者の力が及ばない範囲をはっきりさせること
- ② 監視性 ▶ 犯罪者の行動を見張り、犯行対象を見守ること
- ③ 抵抗性 ▶ 犯罪者から加わる力を押し返すこと

3つの要素で
犯行をあきらめさせる

領域性
(客観的)・
(主観的)な
(領域性)で
接近を防ぐ

監視性
入りこまれても、
可能性(監視性)
簡単には
できない

抵抗性
及んでも
高いと
目的を
できない

ソフト面(縄張り意識)



防犯パトロール

ソフト面(当事者意識)



あいさつ運動



清掃活動

ソフト面(管理意識)



カギかけ運動



護身術訓練



指差し確認



犬と地域の交流



防犯看板

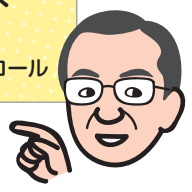


パスポート



見守り活動
わんわんパトロール

「敵」を意識した瞬間から、
当事者意識⇒縄張り意識へ
移行します。
犬と地域の交流⇒わんわんパトロール



1
領域性
で押し返す

2
監視性
で押し返す

3
抵抗性
で押し返す



改定のポイント

今回の改定では「犯罪抑止の3要素」を取り入れました。
「防犯上の指針」改定版の本文P1～2に記載しました。

3

ソフト面(意識面)での「取組み」 ～ホットスポット・パトロール～

CAUTION

CAUTION

CAUTION



特に 自主防犯
ボランティアの
皆様をお願いします。

●ホットスポット・パトロールとは？

「犯罪機会論」を防犯パトロールに応用した、
「防犯効果」が「実証」された唯一のパトロール手法です。

Point

「不審者」ではなく「場所」に注目!!

「不審者」＝「犯罪を企てている人」とした場合、
「犯罪を企てている人」の見分けは、ほぼ不可能に近い。

防犯パトロールは、とかく「不審者」の発見を目標にしがちですが、
犯罪者は、犯罪者と気づかれない「場所や状況」を選びます。
つまり、「不審者」の発見は「ほぼ不可能に近い」のです。



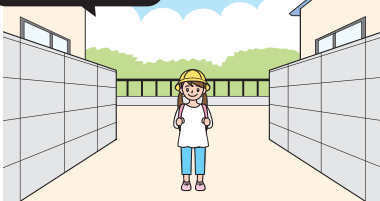
Point

「ホットスポット」とは？

「ホットスポット」とは、「犯罪が起こりやすい危険な場所」
つまり、「入りやすく」+「見えにくい」場所です。

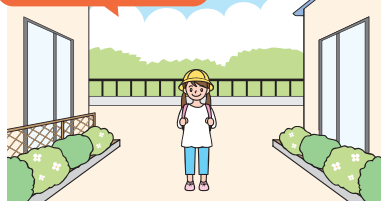
■ホットスポットの具体例

ホットスポット



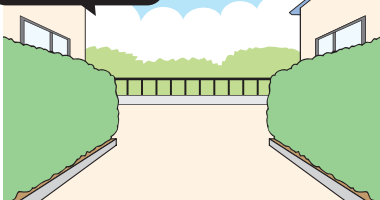
ブロック塀が視線をさえぎる

「窓」から見えやすい



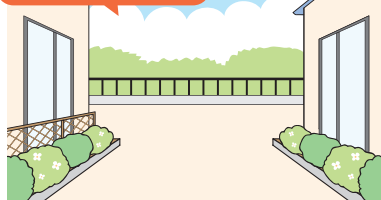
フェンスが低い、視線を期待

ホットスポット



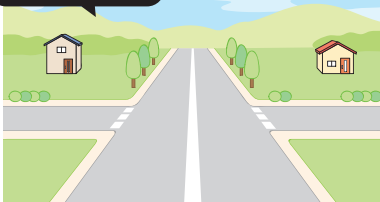
生け垣が高い、視線をさえぎる

「窓」から見えやすい



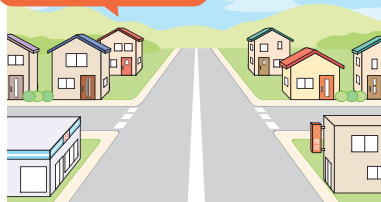
生け垣が低い、視線を期待

ホットスポット



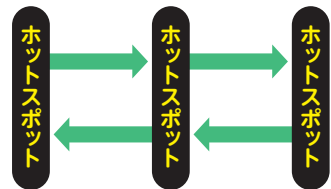
「視線」を期待できない

周りに「窓」が多い



「視線」を期待できる

■ホットスポット・パトロールのイメージ



詳しくは
「とやま防犯パトロールの手引き」をチェック!

とやま防犯パトロールの手引き



改定のポイント

「ソフト面(意識面)」での取組みとして「ホットスポット・パトロール」を取り入れました。
「防犯上の指針」改定版の本文P13、P17に記載しました。

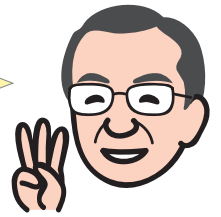
4

ハイブリッド(ハード+ソフト)の取組み ～心理的な領域性の確保～

特に住宅団地等の関係事業者の皆様をお願いします。

【心理的な領域性の確保とは?】

- ①「心理的(主観的)」に「入りにくい」状況を生み出すことです。
- ②先人達はアイデアで、「心理的な領域性」を高める努力をしてきました。
- ③犯罪者だけが強く意識する仕掛けです。



Check 1

先人たちのアイデア



Check 2

カラー舗装



カラー舗装 (オランダ レイスウェイク)

「カラー舗装」の向こう側は、気分的に入りにくいし、だれかが見ていそうなので、この街はあきらめよう。



ポイント

犯罪企図者

- カラー舗装で「領域性」をアピール
- 侵入ルートの正面には、大きな窓がある家が配置
- 多数の「窓」が通りに面して、プレッシャーを与える

Check 3

ハンブ(凸部)



ハンブ(凸部) (英国 ロンドン)

一目散に逃げたいのに「こぶ」が邪魔になりそうなので、ここはやめておこう。



ポイント

- ハンブ＝「眠れる警察官」とも呼ばれています
- 車は、スピードを落として、ゆっくり越える必要があります
- 犯罪企図者は全速力で逃げる事ができなくなります

Check 4

クルドサック(袋小路)



クルドサック (英国 テムズ・ディットン)

よそ者が近づくと、かなり警戒されそうなので、この一角は避けた方がいいな。



ポイント

- 通過交通を抑制し、道路で遊ぶこともできます
- 住人同士のコミュニケーションも促進されます

出典:「写真でわかる世界の防犯」(小学館) 小宮信夫 立正大学教授 著



改定のポイント

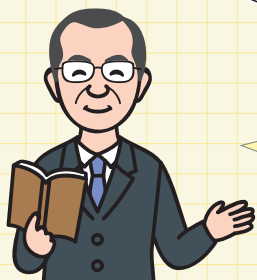
ハイブリッド(ハードとソフトの組み合わせ)の取組みとして「心理的な領域性の確保」を取り入れました。「防犯上の指針」改定版の本文P7、P15、P16に記載しました。

5

ゾーニング(すみ分け)による「子どもの安全な遊び場の構築」

特に 公園・広場等を設置・管理される皆様をお願いします。

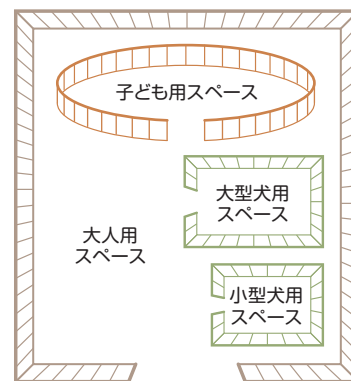
◆この公園の危険なサインを探そう◆



子どもの安全な遊び場を構築するためには、ゾーニングが大切です。具体的には、①子ども向けエリアと大人向けエリアを明確に分け、②遊具は一カ所に集め、フェンスで囲み、③ベンチの設置が求められる場合には、フェンス外周に遊具を背にして置くことが望まれます。

1 「ゾーニング(すみ分け)」の基本原則

- 物理的な「フェンス」の設置のほか、「通り抜けをしないよう歩行者を誘導する舗装道」、「近づいてくる人に気づく時間を確保する芝生」、「大人が遠慮する派手な色使いをした地面」など、心理的な領域性を高める方法もあります。
- 子ども向けエリアにふさわしくない人が入ってきたら、子どもでも警戒でき、だまされて連れ去られるのを防げます(誘拐事件の約8割は、むりやりではなく、だまされて連れ去られたケース)。



▲公園のゾーニングの例

2 「遊具」の集中と周囲をフェンスで囲む



タンザニア



スペイン



アルゼンチン



アメリカ



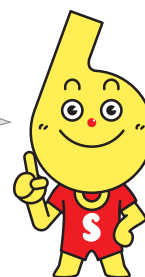
ウズベキスタン



ベトナム

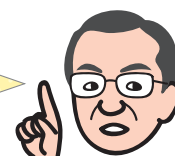
海外では、洋の東西や先進国、発展途上国を問わず、「遊具の集中」と「周囲に柵の設置」が、世界標準(グローバルスタンダード)なのです。

出典:「写真でわかる世界の防犯」(小学館) 小宮信夫 立正大学教授 著





過去に発生した「児童の連れ去り」の現場ですが、遊び場の周囲に「フェンス」があったなら、「入りにくい」場所となり、事件を未然に防止できた可能性があります。



3 「ベンチ」の配置

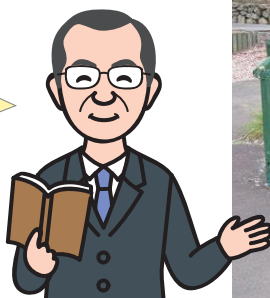
◆「ベンチ」の向きで危険なのはどちらでしょうか◆



危険なのはA。ベンチが遊具の方を向いていると、犯罪企図者はベンチに座ったまま子どもに話しかけることができる。Bのように遊具を背にしていると、振り返るか立って声をかけなければならず、目立つため犯行をあきらめやすい。

Point ベンチは遊具を背にして配置!

遊具を背にして設置することにより、座った保護者は物色中の犯罪企図者にいち早く気づけるし、犯罪企図者が座っても子どもに話しかけにくくなります(だましにくい)。



ニュージーランド



改定のポイント

「ゾーニング(すみ分け)の原則による子どもの安全な遊び場の構築」を取り入れました。「防犯上の指針」改定版の本文P9~10、P16、P19~20に記載しました。

6

CAUTION

CAUTION

CAUTION

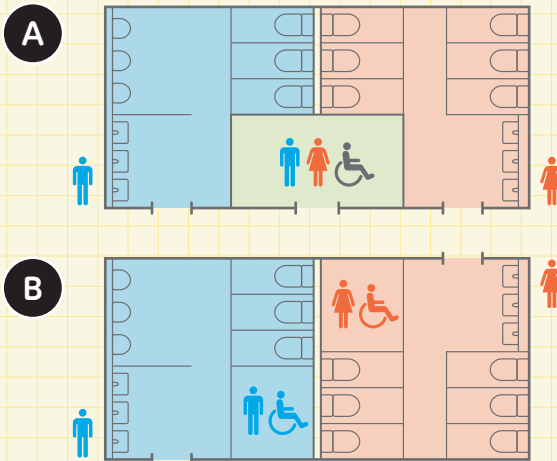
安全に配慮した公衆トイレ

特に 公衆トイレを設置・管理される皆様をお願いします。



公衆トイレの安全性を高めるためには、男女の「出入口」を近接させないなど、ゾーニング(すみ分け)の原則による領域性の確保が大切です。

◆危険なトイレはどちらでしょうか◆



危険なのはA。男女のトイレの入り口が近く、そのそばに多目的トイレがあると、異性を尾行して多目的トイレにすぐに連れこめる。男女の入り口がはなれ、かつそれぞれのトイレの中に多目的トイレがあれば、連れこみにくい。

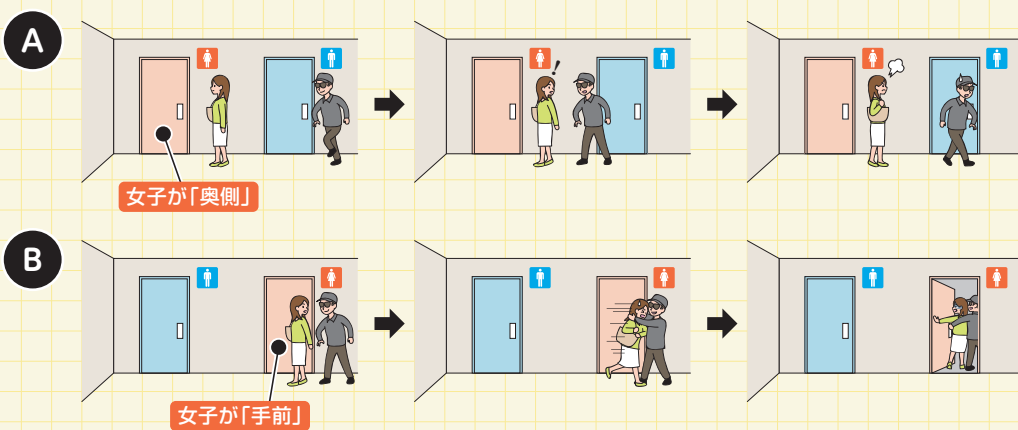
世界の安全なトイレ



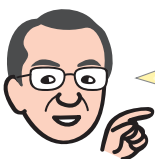
インド
 ● 分かりやすい入り口は、間違えたふりを許さない

韓国
 ● 手前に男子トイレ
 ● 奥側に女子トイレ
 ● 身障者用トイレ 男女別に設置

◆女子トイレは通路の「手前」と「奥側」どちらが安全でしょうか◆



女性用トイレが奥側にあると、女性が男性の犯罪企図者に尾行されたら、トイレに入る前に「おかしい」と気づくことができる。周囲の第三者も、「なぜあの男は奥側に行くのか」と異変を感じ取ることができる。



男女別になっていない身体障害者用トイレが悪用され、大変痛ましい殺人事件が発生しています。トイレでは、強姦性交、強制わいせつ、盗撮なども多数発生しているため、「トイレは犯罪の温床」と言われています。



改定のポイント

「女性と子どもの安全に配慮した公衆トイレ」を取り入れました。「防犯上の指針」改定版の本文P20、P30～31に記載しました。

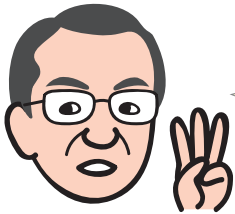
7

犯罪機会論に基づく「地域安全マップ」

特に 保護者の皆様や
学校関係者の
皆様をお願いします。

● 地域安全マップは、襲われないための「リスク・マネジメント」の手法

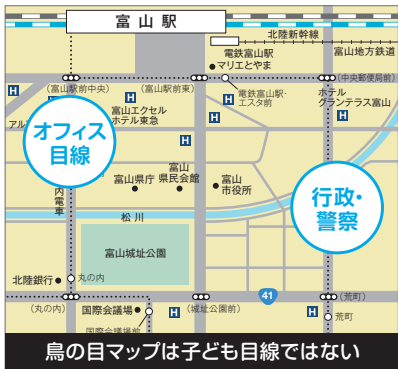
- 地域安全マップづくりにより、
- ① 「入りやすい」「見えにくい」を判断基準にして、
 - ② 犯罪が起きやすい場所を発見し、
 - ③ 適切な回避行動をとれるようになります。



日本の子どもの安全対策は、「防犯ブザーを鳴らそう」「助けてと叫ぼう」「走って逃げよう」といった、襲われた後の対策ばかりです。しかし、襲われたらどうするかという「クライシス・マネジメント」は、襲われないためにはどうするかという「リスク・マネジメント」に比べ、子どもが助かる可能性は低くなります。襲われたら恐怖で体が硬直してしまうからです。



犯罪発生マップ【2次元の目】



地域安全マップ【3次元の目】



地図を暗記させるのではなく、虫の目で危険な場所に気づく力を育てることが大事!

子どもが景色を見る

その場所が危険か危険でないかを判断

自分で判断する力 = 「景色解読力」を身につけるのが目的

8

低コストで可能な侵入防止対策「来校者誘導用ライン」

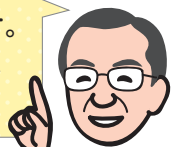


ハード対策は、お金がかかるイメージですが、低コストで可能な対策もあるのですね。



出典：神奈川県藤沢市「ふじさわ防犯ハンドブック」

- 来校者はラインの上を歩くはずですから、ラインから外れるだけで不審な行動と見なせません。しかも、それは子どもでも判断できます（犯罪企図者の早期発見）。一方、善意の来校者には「わかりやすく親切」と好評です。
- 子どもと接触したい犯罪企図者にとっては、物色中に教職員に見つかった場合の言い訳ができなくなるので、「心理的に入りにくい場所」となります。



改定のポイント

児童等の安全の確保に関する指針の中に、「地域安全マップ」と、「低コストで可能な侵入防止対策」を取り入れました。改定版の本文P25、P26に記載しました。

9

「抵抗性」(住宅・共同住宅など) ～最後の「砦」～

● 犯罪行為に対抗する「個人的防犯」の手法

侵入盗による被害は、お金・貴金属・物品だけではありません。
あなたや大切な家族の命も奪われかねないのです。

うちは大丈夫！
盗られる物なんか
なんもないちゃ！
…とっていませんか？

侵入者がイヤがる 4つの条件



光 明るく照らされる



時間 侵入に時間がかかる



音 警報音など大きな音



目 顔や姿を監視される

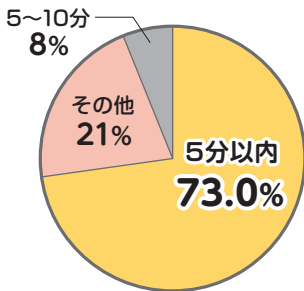


一般住宅

- 侵入犯罪(空巣・居あき・忍び込み)
- 強盗
- いたずら、いやがらせ

- ・周囲からの見通しが良いように整理しておく(塀、庭木、生垣なども見通し良くしておく)
- ・足場になるような物を窓の近くに置かない(はしご、タイヤ、エアコンの室外機等)

● 侵入をあきらめる時間



多くの泥棒や空き巣は侵入に時間がかかることを嫌い、5分以内に侵入できない場合は7割以上があきらめています。侵入しにくくして時間を稼ぐことが、重要な防犯対策になります。

防犯カメラ

カメラの設置により、侵入者をけん制し、優れた防犯・抑止効果を発揮します。ビデオに画像を記録できるものなど、様々なタイプがあります。



センサーライト

人が近づくとセンサーで感知、自動的にライトが点滅し、侵入者を威嚇します。



防犯ガラス 防犯フィルム

防犯ガラスは、2枚のガラスの間に破れにくい特殊フィルムをはさんで接着しているため、貫通までに時間がかかります。 ※CP認定品



防犯フィルムは、既存のガラスに貼ることで割れにくくなり、貫通までに時間がかかります。

ワンドア・ツールック

扉に2つ以上の鍵を取り付けることで、防犯効果が大きく高まります。



ディンプルキー



鍵違い数が非常に多いため複製が困難で、ピッキングにも強く、防犯性に優れた鍵です。

※CP認定品

※CP認定品…防犯性能の高い建物部品認定品



少しの外出(ゴミ出し等)でもしっかりカギをかける習慣をつけましょう。
お出かけの時は、換気のために開けていた窓のカギも、しっかりしめてください。(トイレ、風呂等)

集合住宅

- 侵入犯罪(空巣・居あき・忍び込み)
- 強盗
- 駐車場での車上荒らし
- いたずら、いやがらせ

- ・ゲートの設置
- ・敷地内の照明
(4m先の人の挙動、姿勢などが認識できる程度)
- ・境界への塀、フェンスの設置
(見通しの良い物)
- ・ゾーニング
(通路などを色分けし、空間ごとに役割を持たせることにより、理由もなく侵入してきたものが入りにくいと感ずる)
- ・屋上への侵入を防ぐ
(鍵付きの管理用扉)
- ・足場になるような物を
ベランダの近くに置かない
(はしご、タイヤ、エアコンの室外機等)



テレビドアホン

留守を確認するためにドアホンを鳴らす不審者を、画像で記録します。顔を見られることを嫌う侵入者の撃退に役立ちます。



防犯じゃり

踏むと通常の砂利より大きな音がします。庭や窓の下に敷き詰めると、効果的です。



窓用センサー

自宅の窓に備えておけば、知らない間に窓が開くとセンサーが検知し、ブザーが鳴って部屋の近くにいる人に知らせます。



防犯網戸

ナイフやハンマーでも破れない丈夫な網とロック機能で、通気をしながら窓やドアからの侵入を防ぎます。



面格子 ※CP認定品

窓に強度の高い面格子を設置することで防犯面での心理的・物理的両面での抑止力につながります。



警告告知

看板・ステッカーなど、不法侵入者に対する侵入阻止の意思表示



サッシ窓用補助錠

サッシ窓に簡単に取り付けできる補助錠です。サッシ窓の防犯効果を高めます。サッシ窓の上下2か所に設置することにより防犯効果が向上します。



セキュリティシステム

侵入を未然に防ぐための「抑止」、被害を最小限に抑えるための「威嚇・撃退」、建物の中に入らせる前に撃退する「外周警備」に重点を置いた自主機械警備システムで、財産や人命を守ります。



空き家

- 不法侵入による住みつき
(重大な犯罪の拠点となる恐れあり)
- ゴみの放置・不法投棄
- 空巣
- 放火

- ・所有者により適切に管理されている
という意思表示
(除草、庭木の手入れ、郵便ポストにチラシや郵便物をためない)
- ・電気、ガス、水道を止める



改定のポイント

改定版の本文P4～17に記載しました。

[編集/発行] 富山県総合政策局 防災・危機管理課 安全なまちづくり班

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

電話：076-444-4581 FAX：076-444-3489

e-mail: abosaikikikanri@pref.toyama.lg.jp

**[監修] 立正大学文学部社会学科教授・社会学博士 小宮 信夫
富山県防犯設備協会**